

■ 秋田県建設産業活性化センターによる取組

建設産業活性化センター（R4～）による建設産業振興に向けた取組

センターの目指す姿

「秋田県建設産業活性化センター」を核として、若手技術者や女性技術者等の確保・育成に向けたマッチング支援、建設産業全体のイメージアップ等を推進

⇒ 「将来にわたって、地域社会を支える建設産業の持続的・安定的な発展」を目指す

重点的な取組

- I 〔人材確保〕 高校生等と企業のマッチング支援
- II 〔イメージアップ〕 建設産業で働く魅力の発信によるイメージアップの推進
- III 〔経営基盤の強化〕 県内建設企業における経営基盤強化への支援

総合的な支援



R4. 4. 1センター開所式
(県建設政策課内)

新4K（給料が良い、休暇がとれる、希望がもてる、カッコいい）の実現を目指す！

■秋田県建設産業活性化センターによる取組

県

業界団体

人材確保

- 高校生等と県内企業のマッチング (R4~)
- ☆地域振興局による小中学生向け現場見学等の開催
- ☆あきた建設女性ネットワーク「クローバー」との連携による女性活躍の推進



県内建設企業による
高校生向け出前説明会

- 各種対策の実施 (R4~)
- (県補助金の交付)
- ・離職防止、定着促進
- ・技術者、技能工等の育成
- ・建設ICT人材の育成
- ・女性活躍の促進
- ・人材確保に向けたイメージアップの取組

建設産業の イメージアップ

- 県内各地のインフラ資産の魅力のPR
【未来へ伝えたい秋田のインフラ50選】 (R4~)
- 将来の目標となる先輩社員の紹介
【秋田をつくる建設人 12編の物語】 (R4~)
- 県内企業の賃金水準等の労働環境やアピールポイントの紹介【建設企業ガイドブック】 (R4~)
- 建設DX等の最新技術や建設産業全般の取組等をPR【けんせつ未来フェスタ】 (R5~)
- 建設産業への興味・関心の醸成及び入職促進
【SNS広告配信】 (R7~)



けんせつ未来フェスタ



SNS広告配信
(ランディングページ)



業界団体による人材確保に向けた取組
(建設業体験イベント)

経営基盤 の強化

- 建設企業経営者向けセミナーの開催 (R4~)
- ☆入札参加資格や総合評価落札方式における評価など賃金水準の向上や若者・女性雇用等への制度的支援
- ☆建設DXの活用による生産性の向上支援

- ☆商工団体等と連携した経営改善や合併支援
- ☆企業向けセミナー等の開催 (県共催)

○: 建設産業魅力発信事業による取組

☆: 制度的な誘導策や他機関等との連携による取組

◆人材確保の取組【高校生等と県内企業のマッチング】

● 建設企業出前説明会の開催

建設企業等が高校等に出向き、自社の特徴や仕事内容、やりがい等を直接生徒に伝えることにより、新規学卒者の県内建設産業への入職を促進する。

学 校 名	日 程	対象学年	参加企業数
秋田工業高等専門学校	7月17日	土木・建築系3、4年(88名)	建設関係ほか(16社)
男鹿工業高校	11月 5日 2月14日 2月14日	設備システム科2年(28名) 機械科2年(24名) 電気電子科2年(19名)	設備関係(5社) 建設関係ほか(4社) 建設、電気関係(7社)
秋田工業高校	11月19日 12月12日	土木科2年(35名) 建築科2年(35名)	建設関係(6社) 建設関係(5社)
聖霊高校	11月 5日	1年生全員(130人)	建設関係ほか(10社)
大曲工業高校	11月26日 2月 2日	土木・建築科1、2年(67名) 機械科1、2年(59名)	建設関係(11社) 建設関係ほか(5社)
雄物川高校	3月17日	普通科1、2年(49名)	建設関係(2社)
能代科学技術高校	12月16日 12月17日	建設科1、2年(21名) 電気科2年(17名)	建設関係(4社) 建設関係ほか(5社)
金足農業高校	12月18日	環境土木科2年(34名)	建設関係(11社)
五城目高校	7月23日	普通科1、2年(32名)	建設関係ほか(8社)
大館桂桜高校	1月29日 2月 3日	電気科2年(24名) 土木・建築科2年(35名)	建設関係(6社) 建設関係(6社)
秋田北鷹高校	2月10日	緑地環境科2年(7名)	建設関係(5社)

※予定含む

◆人材確保の取組【高校生等と県内企業のマッチング】

■建設企業出前説明会の開催状況

【ブース形式】



【講話形式】



◆建設産業のイメージアップの取組【けんせつ未来フェスタ】

『けんせつ未来フェスタ』の開催

- 開催日 令和7年10月11日(土)
10時00分～16時30分
- 来場者 約5,600人
- 会場 イオンモール秋田
[屋内]セントラルコート
[屋外]第7駐車場催事スペース
- 主催 秋田県建設産業活性化センター
- 内容
 - <セントラルコート>
 - ドローンシミュレーター体験
 - 最新測量機器展示
 - 砂防学習コーナー
 - けんせつ女子パネル展示
 - <第7駐車場>
 - 最新建設ICT機械展示
 - 建設産業団体、行政機関PR
 - 県事業PR

参加無料!

けんせつ未来フェスタ 2025

開催日時 **10/11** 10:00～16:00

会場 イオンモール秋田 セントラルコート特設会場 第7駐車場

最新建設 ICT機械の展示

ミニバックホウ ボールすくい体験

測量機器で たからさがし

解体用重機 乗車体験

ドローンシミュレーター 体験

ミニコンお菓子 つかみ取り

グルメ キッチンカー 大集合

けんせつ女子パネル展示

MC 真坂はづき

MC 杉本まゆ織

建設作業着 ファッションショー 13:00～

スタンプラリーで ステキなプレゼント!

同時開催 **働く車 大集合 2025**

開催日時 **10/11** 10:00～16:00

会場 イオンモール秋田特設会場 秋田デパート向い第8駐車場・バスターミナル付近

主催 秋田県 共催 秋田河川国庫事務所・(一社)秋田県建設業協会・秋田県建設産業団体連合会・秋田県建設技術協会

◆建設産業のイメージアップの取組【けんせつ未来フェスタ】

■『けんせつ未来フェスタ』の開催状況

【セントラルコート（屋内会場）】



建機ラジコンお菓子つかみ取り体験



ドローンシミュレーター体験



ステージイベント

【第7駐車場（屋外会場）】



ミニバックホウ操作体験



建設重機試乗体験



県事業PR

◆建設産業のイメージアップの取組【SNS広告配信】

●概要

若年層をターゲットとし、SNSを活用して建設産業のイメージアップと入職促進を図る

●ねらい

若者の行動様式に合わせた情報発信を行うことで「職業選択肢としての認知」を獲得する

●手法

(1)縦型ショート動画広告

スマホネイティブな世代に馴染む縦型動画をYouTube、X、Instagram、TikTokで配信

(2)インフルエンサー起用

秋田県在住の夫婦インフルエンサー「こちゃもちゃ」を起用し、親しみやすさと共感を醸成

(3)特設LP(ランディングページ)

SNS広告からの受け皿として、建設業の魅力を分かりやすく伝えるWebサイトを開設

(4)ディスプレイ広告

クイズ形式などのバナー広告で興味を引き、LPへ誘導



◆経営基盤の強化【経営改善セミナーの開催】

●概要

建設産業における担い手不足への対応として多様な人材確保対策をテーマとしたセミナーを県内各エリアで開催

●開催日時・参加企業

- (1) 県北エリア 10月6日・7社
- (2) 県央エリア 10月7日・17社
- (3) 県南エリア 10月8日・24社

●内容・講師

- (1) 高校生の県内就職の動向について
- (2) 外国人材の活用について

●参加者の声

- ・現在の高校生が求める条件(休日・賃金)や考え方を具体的に知ることができた。
- ・大曲工業高校の先生による現場の声が非常に参考になった。

建設産業の未来を拓く！ 担い手確保セミナー

主催：秋田県
共催：秋田県建設業協会

参加費
無料

日程 令和7年10月8日（水）

時間 14:00 - 15:30

会場 仙北地域振興局 3階 大会議室

セミナー内容

第1部：今時の高校生が求めるもの～若手人材の獲得戦略～

講師：県立大曲工業高校 土木・建築科 山崎 昇

最近の高校生の職業意識の変化・動向を踏まえながら、地元企業の若手人材獲得に向けたヒントについてお話しします。

第2部：外国人材の活用最前線

講師：秋田県外国人材受入サポートセンター 浜坂 友輝

受け入れ制度の概要から、成功事例、注意点まで、現場で活かせる情報をお届けします。



◆建設業界団体独自の取組に対する支援【補助金】

■ 県補助金の交付(建設産業における人材確保対策加速化支援事業)

業界団体や建設業協会等による人材確保に向けた次の取組に対して補助を行う。

- ・実施方法：公募による補助
- ・補助率等：1 / 2 [上限500千円 / 1団体当たり]

①【離職防止・定着推進】

若手就業者や管理職等を対象とする研修会等

②【技術者、技能工の育成】

学生や若手就業者等を対象とする資格取得支援等

③【建設ICT人材育成】

建設ICT技術の習得を目的とした研修等

④【女性活躍の促進】

女性就業者等を対象とする意見交換会等

⑤【イメージアップのための情報発信】

WEBやSNSを活用した情報発信



建設業体験フェスタ
(雄勝建設業協会)



学校工事体験学習会
(平鹿建設業協会)

1. 取組の成果

秋田県建設産業担い手確保育成センター(H29～R3)

[取組]

- 人材確保 : 担い手確保育成推進員による学校と企業とのマッチング支援
- 女性活躍 : 業界で働く女性の活躍促進
(あきた建設女性ネットワーク「クローバー」の立ち上げ)
- 資格取得 : 建設・建築資格取得の支援
- ICT普及 : ICT研修施設整備や施設PR、ドローン活用研修会の開催
- 補助金 : 建設業界団体が行う担い手確保等の取組への助成
- イメージアップ : 子育て層向けICT建設機・ドローン体験

[成果]

- ・ 高校生の建設業への就職率の向上
(県内就業者に占める建設業就職者の割合)
H28年度 10.1% ⇒ H29～R3 年度平均10.5%
- ・ 県内8地域で女性部会が設立
業界全体の女性活躍促進の気運が醸成
- ・ ICT研修拠点が整備され、
民間主導によるICT人材育成の環境構築

秋田県建設産業活性化センター(R4～)

※従来の人材確保、業界イメージの向上、経営基盤強化の取組の深化・拡充

[取組]

- 人材確保 : 担い手確保育成推進員による学校と企業とのマッチング支援
- 女性活躍 : 業界で働く女性の活躍促進
(イベント・交流会の実施)
- ICT人材 : ICT活用工事現場見学、3D測量研修
- 補助金 : 建設業界団体が行う担い手確保等の取組への助成
- イメージアップ : インフラ資産、業界ロールモデル、建設企業ガイドブック、子育てふれあいイベント、SNSによる情報発信
- 企業支援 : 経営者向けセミナー

[成果]

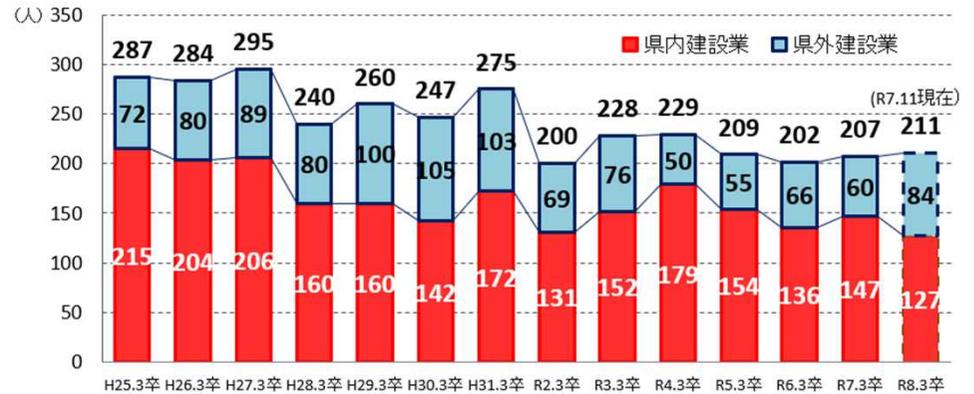
- ・ 高校生の建設業への就職率の向上
(県内就業者に占める建設業就職者の割合)
H29～R3 年度平均 10.5% ⇒ R4～R6年度平均 11.6%
(1.1ポイント増)

秋田県建設産業活性化センターの取組の成果、課題と今後の方向性

1. 取組の成果

①人材確保・定着

- 県内高校生の減少、進学率の増加という状況の中、
県内建設産業への入職者数は目標の150人に近い数値を維持
- 建設産業入職者のうち、県内に入職した割合は、
R6.3卒：67.3% ⇒ R7.3卒：71.0%と3.7ポイント向上
- 県内建設産業における女性生徒の進路選択の向上
R6.3卒：15人 ⇒ R7.3卒：25人と66.7%増加



②イメージアップ

- けんせつ未来フェスタ来場者数延べ約14,000人 (R5~R7累計)
 - ・ 来場者アンケートでは、97.1%が「建設産業に対する理解が深まった」と回答
- SNSを活用した魅力発信の強化
 - ・ SNS広告配信や投稿数増により、公式Instagramリーチ数（閲覧者数）は取組前の月約500から月約10,000に増加、また、フォロワーもR7.4月の325人からR8.1月の645人に増加



③意識改革

- 出前説明会の実施により、高校生に建設業で働く魅力を直接発信したことで、
高校生の入職意識を醸成
- 女性技術者のロールモデルを紹介したことで、女性活躍の意識が向上
県建設業協会企業女性技術者数 **H30：92人 ⇒ R6：184人**
(※H30にあきた建設女性ネットワーク「クローバー」設立)
- 働き方改革につながるICT活用モデル工事実績の増加
H29：5件 ⇒ R6：51件 (発注者指定型と受注希望型の合計)
- 企業向けセミナー、意見交換会等の実施により、
情報発信や多様な人材活用に係る意識改革の推進

説明会前後における建設業への意識変化

